

事 務 連 絡
平 成 2 7 年 1 2 月 1 7 日

国立大学法人長岡技術科学大学 御中

文 部 科 学 省
研究開発局研究開発戦略官
(新型炉・原子力人材育成担当)付

国際原子力人材育成イニシアティブ事業 事後評価結果について

貴機関において実施された「国際原子力人材育成イニシアティブ事業」に係る事後評価結果を、以下のとおり通知いたします。評価基準等については、別に定める「国際原子力人材育成イニシアティブ事業 事後評価について」を御参照願います。

課題名	原子力発電リスク認識のための中学-高専-大学院高度連携教育
実施機関	国立大学法人長岡技術科学大学
実施期間	平成24年度～平成26年度

【評価結果】

S	極めて優れた成果があげられた
---	----------------

【審査評価委員会所見】

＜推奨意見＞

●高等専門学校等との連携の下に、原子力安全工学セミナーやインターンシップ等を通じた高専－大学・大学院間の人的交流の促進を心掛けた意欲的な教育プログラムを開発するとともに、教育プログラムに参加した学生の一部は、中学校への出前授業に参加することで学習効果の向上に努めた点が非常に高く評価できる。特に中学校への出前授業については、中学生にとって貴重な学習の機会が得られるとともに、教える側の学生にとっても理解促進に役立つ有意義な取組であったと高く評価できる。また、各年度に報告会及び外部評価を行い、外部委員の意見を積極的に取り入れながらプログラムの改善に努めた結果、想定を大きく上回る参加者を得る等、当初の目標以上の成果が得られた点も高く評価できる。

●本事業で実施した「危機管理ロールプレイング」や「住民等とのリスクコミュニケーション」は、原発立地地域の特徴を活かした取組であり、学生の防災・危機管理への理解促進とともにリスクコミュニケーション能力向上に役立つ取組であったと評価できる。

＜今後への参考意見＞

- 本事業で開発した e-ラーニング等の教材については、継続的な改善に努めながら学会や論文、原子力人材育成ネットワーク等で意欲的に発信され、多くの機関に普及・活用されることを期待する。